



自治会だより

2012
新春号

～挨拶と花と緑の明るいニュータウン～

安全で安心して暮らせる街づくりを実現しよう！
守ろう！住環境維持のルールとペットマナー



新年のご挨拶

会長 田端 勇治

自治会員の皆様、お健やかによい年をお迎えのことと存じます。年頭にあたり、会員、ご家族の皆様のご健康ご多幸を心よりお祈り申し上げます。平成21年度より自治会長を仰せつかり、役員、班長並びに会員の皆様のご協力により、3度目の新年を無事迎えることができました。ここにあらためてお礼申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災を始め集中豪雨等の大災害が発生、多くの貴重な命が奪われました。今なお多くの方々が不自由な生活を余儀なくされておられます。その方々に対しまして心よりお見舞い申し上げます。この大災害は私達に、人と人との心のつながりの大切さや絆の大切さを教えてくれました。自治会活動を通じて、自治会員一人ひとりの心のつながりや絆を

より一層強く、また深くしていきたいと心から願っております。

平成23年度の基本方針の1つとして高齢者対策を掲げ、班長さんには班会議で「災害時の高齢者救助・連絡手段等について」話し合っていたり、ご協力をお願いをさせていただきました。また、今回の自治会だよりで白岡町の高齢者対策について取り上げさせていただきます。

最初は小さな一歩でも、続けていけば点が線になります。一人ひとりの力を合わせれば線が面になります。それがやがて、大きな変化をもたらします。私達自身の力で、私達の住む街を「安全・安心で、挨拶と花と緑の明るいニュータウン、そして心の豊かさにあふれた街」にしていきたいと、決意を新たにしています。

引き続き、会員の皆様の自治会活動に対する一層のご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

青空市を終えて

青空市を終えて

事業部長 松本 祥子

去る12月4日、文字どおり青く澄み渡る冬空のもと、青空市が開催されました。

さくら公園と三丁目集会所をメイン会場として行われるこのイベントでは、杵つき餅の実演販売やフリーマーケットの出店、長野の林檎園から直送される蜜入りんごの直売などが行われました。夏の盆踊り大会に比べると、ニュータウン内での認知度も低かった青空市ですが、取り扱う商品が安価で内容が良いため、最近では固定の来場者もふえ、また子ども達を対象にしたクリスマスリース作りの体験コーナー等も盛況で、終了予定時間より早めの完売御礼となりました。評判がよく品薄だった商品については、来年度以降の仕入れを強化することも検討したいと考えております。

なお昨年まで並行して実施してきた『趣味の作品展示会』は、本年度は子供部主催の独立した企画として11月に開催しましたので、今年の青空市は規模も内容もコンパクトなものとなりましたが、そのため運営や進行は大変スムーズで、上々の評判のうちに事故なく終了することが出来ました。



長野直送林檎とつき立てお餅は今年も行列が



子ども達お手製のマカロニリースは芸術作品

改めましてご来場の皆様、朝早くからお手伝い頂いた事業部はじめ班長の皆様および役員や関係者各位に、心より御礼申し上げます。



重いけどがんばりました

お正月用の苗やお花が好評でした



防災訓練と防犯パトロール

自主防災訓練の報告と

防犯パトロールについて

保安部長 福嶋 道夫

去る9月11日に行った自主防災訓練の報告をします。白岡東小学校での訓練参加者は270名でした。暑い時期の設定（昨年度は10月）だったためか昨年度に比べ約100名少ない参加者となりました。

今回は新たに「防災リボン」を結ぶ訓練を行いました。地震等の災害時に「避難完了」の合図として外から容易に分かるように「扉やドアノブにリボンを結ぶ」訓練です。訓練の参加率、即ちリボンの「結び率」はサンプル調査で53%でした。目的・方法など今後の検討が必要です。「標語」に家族全員での応募があったこと、「ポスター」に幼児がかわいらしい絵を画いてくれたこと、「牛井

とキュウリの浅漬け」の評判がよかったことなど大きな励みや喜びを感じました。



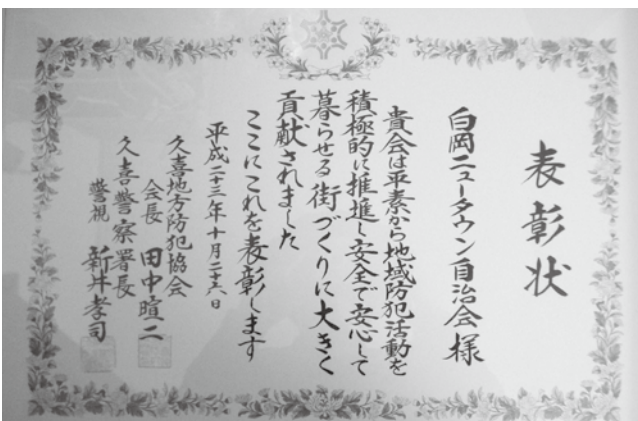
時々「空き巣狙い」が発生しています。自治会は防犯活動にも力を入れていきます。「防犯パトロール」には毎回20〜30名が参加しています。「ただ今防犯パトロール中です」「白岡ニュータウン自治会です」をスピーカーと参加者の大きな声で連呼します。犯罪者をけん制し、皆さんに防犯意識を持っていただくのが目的です。同時に不点灯の防犯灯（街路灯）のチェック・役場への修理依頼、消灯している門灯の点灯のお願い、連絡先の表示のない駐車車両のチェックを行います。経験のない方は一度参加してみたらいかがでしょうか。皆さんの大きな声を聞かせて下さい。合わせて皆さん個人の防犯対策もお願いします。



トピックス

昨年10月26日、白岡ニュータウン自治会が地域防犯活動を積極的に推進していることが認められ、久喜地方防犯協会より表彰されました。

会長が自治会を代表して出席され、賞状を授与されました。今後も地域の安全を守るため皆様にもご協力お願いします。



認知症サポーター

認知症サポーター養成講座に参加して

総務副部長 吉井 健

10月1日に白岡町役場高齢福祉課の早津様が講師となり、一丁目集会所で約50名の住民の皆さんが参加して認知症サポーター養成講座が開催されました。

参加したくても都合で出られなかった方も多いと思いますので、その内容の一部をご紹介します。

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気で85歳以上では4人に1人にその症状があると言われています。現在は210万人ですが2040年には400万人に増加するとされています。

2004年12月に「痴呆症」から「認知症」へと呼称変更されました。

現在は「認知症サポーター100万人キャラバン」のキャンペーンが実施されています。

認知症にはアルツハイマー型と脳血管性型があります。特に脳の神経細胞が死んでしまうアルツハイマー型は現在の医学では薬で進行を遅らせることはできませんが、治すことはできません。認知症になると①記憶障害（新しいことを記憶できず、さつき聞いたことも忘れてしまう）②見当識障害（時間、場所、人物の見当がつかなくなる）③理解・判断力障害（考えるスピードが遅くなり、同時に二つ以上のことがうまく処理できない）④実行機能障害（みそ汁が作れなくなるなど）の症状があらわれます。

ではこれらの認知症の方をサポートするにはどのような方法がよいのでしょうか。

具体的な事例で説明がありました。

例えば

① 店でお金を払えない人を見かけたとき

× 1750円でしょ。二千円でお釣りをもらえばいいのよ。

○ 一緒に財布から小銭を出して、これで1700円あと10円玉で五枚ですよ。

② ゴミ出しの日を間違えたとき

× またあの人曜日を間違えている。何度言ったらわかるのかしら。

○ 次から何ゴミの日か教えるので一緒に出しましょう。

③ 徘徊老人をみかけたら

× 見て見ぬふりでかわらない

○ やさしく声をかけて一緒に家へ連れていく…などです。

NGワードはあっち行つて、違いでしょ、また忘れたの、きたないわね。OKワードは大丈夫ですよ、ありがとう、わかりました等です。

認知症の方のプライドを傷つけないように、やさしく接してあげるのがコツです。

最後に認知症の相談窓口として「認知症の人と家族の会・埼玉支部」048（667）5553（月火金の10時～15時）研修会のご案内「さいたま介護ねっと」の紹介がありました。

今回認知症サポーター講座を受講された方にはオレンジリングが配布され、このリングが「認知症の人を支援します」という目印になります。サポーターの数を増やして、認知症の方も安心して住める白岡ニュータウンにしたいものです。



町の高齢者対策

皆さん、ご存知ですか？

白岡町の高齢者福祉サービスってどんなものがあるのでしょうか。

1. 高齢者に対応してくれる機関は？

イ. 地域包括支援センター・・・高齢者の生活を支えるため、総合的に対応してくれます。

電話 92-1111 内線173、174

ロ. 在宅介護支援センター光乃里・・・高齢者の在宅介護に関する相談に応じてくれます。

電話 97-0376 電話相談は365日24時間体制で受け付けてくれます。

ハ. 老人福祉センター・・・高齢者が健康に毎日を過ごすことのできる施設です。

電話 92-1205 利用時間 午前9時30分～午後4時

2. 在宅の高齢者・家族へのサービスの内容は？

サービス名	サービスの内容	利用回数及び自己負担額
配食サービス	65歳以上のひとり暮らし世帯、高齢者のみの世帯やこれに準じる世帯で、調理困難な方に対して、夕食が自宅へ配達されます。	週3回（土・日は除く） 1食あたり300円
はいかい高齢者等家族支援サービス	認知症高齢者がはいかいした場合に、早期に発見できる機器を利用することにより、はいかい高齢者の居場所を家族に伝え、事故の防止を図るとともに、家族の不安が解消されます。	基本料金 月525円 位置情報提供料金 電話1回 210円 インターネット1回 105円 現場急行料金 1回10,500円 (うち7,350円は町が負担) 機器購入費は町が負担
緊急時通報システムサービス	一人暮らしの高齢者の日常生活の緊急事態における不安を解消するため、緊急通報用電話を設置してくれます。	設備に要する費用は町が負担 自己負担額は通話料のみ
老人ホーム入所措置サービス	おおむね65歳以上の方で、健康上の理由、家庭の事情、経済的な理由などで、家庭において生活することが困難な方を養護老人ホームに入所させます。養護老人ホームへの入所は、入所判定会議の判定を受け、町による措置の決定に基づいて行われます。	本人、扶養義務者の収入に応じた負担となる
成年後見制度利用支援サービス	成年後見等の町長申立てを行う必要のある高齢者に係る「申立てに要する経費」及び「成年後見人等の報酬」が助成されます。	家庭裁判所の審判により、申立て費用の負担が発生する場合あり

上記以外にも色々なサービスがあります、詳しくは「白岡町高齢者福祉サービスガイド」に載っております。

照会は、町の高齢福祉課へ

電話92-1111 内線172・173・174・176

趣味の作品展示会と環境部活動報告

趣味の作品展示会

子供部長 佐藤 輝子

昨年11月19・20日、青空市から独立開催となった趣味の作品展示会を、ノースプラザで大人の作品展、センタープラザで子供の作品展として開催しました。今年からの試みで不安もありましたが、両会場とも沢山の方が出品、来場して下さいました。

絵画、版画、陶芸、ちぎり絵、折り紙、押し花絵、書道、生け花、写真、等々素敵な作品が沢山展示され、来場者を魅了していました。子供達の作品も沢山集まり、力強いエネルギーが会場一杯にあふれました。同時開催した小規模な手作り体験には、雨の中小さなお子さんも参加、素敵なおクリスマスカードをワイワイと作ってくれました。今後もどなたでも気軽な気持ちで、沢山の出品をお願いします。



出品数	来場者数
大人 98点	大人展示場 114名
子供 96点	子供展示場 104名
子供体験数 36名	

たくさんのご来場
ありがとうございました。



環境部活動報告

環境部長 谷本 昌也

今年も環境部は例年通り、春、秋の「ごみゼロ・クリーン運動」と「生垣害虫駆除」及び「年末クリーン運動」を実施して参りました。内「ごみゼロ・クリーン運動」では、毎年、序々に参加者が増え続けておりましたが、春の回で初めて1,500名の大台を超えました。

これは自治会会員の皆様、長年に渡り、築かれた文化であり、この町を愛し、きれいであり続けたいという熱い思いの現れで感銘を受けました。

今後はこれが途切れない様、来年以降も活動が維持、継続され、発展していけばと思う次第です。私達にとって、きれいで住みやすい町であることは誇りではないでしょうか？

ハナミズキの魅力について

ハナミズキは前年の7～8月花芽の準備に入り、秋には小さな宝珠の型をした小さな蕾が出来ます。彼岸を過ぎると、蕾が膨らみ始め、4月下旬から5月上旬にかけて美しい花を咲かせます。実は秋分ころはまだ色濃い枝の先々で赤く色づきます。追いかけるように緑の葉が紫色を帯び紅葉が始まり、少し黒ずんだ葉から葉緑素が抜けていき、透き通るほど鮮明で見事な紅葉になります。

花から実、紅葉まで

楽しむポイント

遅咲きの桜が盛りを過ぎると、ピンクや赤、白の底抜けに陽気な花を咲かせ楽しませてくれるハナミズキの季節がやって来ます。



ハナミズキの魅力とその管理について

吉田 守彦

『ハナミズキ』

ハナミズキの花

ハナミズキの花の構造はちよつと変わっています。花弁（花びら）のように見えるのは総苞（がく）の部分で、本来は花を保護する役をするものです。本当の花は4つの総苞片の中心に固まっている黄緑色の粒々で、小さくとも完全な花です。中心にある子房が実になります



ハナミズキの管理

肥料は落葉期に元肥として施します。落葉期に施さないときは花後に施します。発酵牛ふん（または油かす）と骨粉を等量混合したものを、樹冠下1mにつき両手で一つかみの割りで施します。庭植えの場合はこの一回で十分です。水やりは、乾燥しやすい場所、異常乾燥したときでなければ必要ありません。

病虫害は特にうどんこ病にかかりやすく、アメリカシロヒトリがつきやすいので注意してください。

うどんこ病の症状は葉に白い粉をふりかけたようになる。防除は6月に殺菌剤（サプロール乳剤）を散布する。

アメリカシロヒトリの病状は葉を食害する。防除は6月～9月に殺虫剤（オルトラン水溶剤かアクテリック乳剤）を散布する。

剪定は広い庭ならのびるに任せて、自然樹形を楽しむのが一番ですが、一般には出来るだけ低く仕立てます。太い枝を切ってもよく萌芽するので、芯を切って横枝を張らせるように仕立てます。



ネットアドバイザー

白岡ニュータウン自治会
自治会だより

2012年新春号

2012年1月30日発行

(年3回発行)

発行・白岡ニュータウン自治会

制作・広報部

携帯電話による事件が、ニュースでよくとりあげられています。おとただけでなく、子どもが被害の対象になる事件も全国で多発しています。ここ10年で急速に普及した携帯電話。親が知らない間に子どものほうが使いこなして、多額の請求をされたり、いじめの道具に使ったりすることが増えています。

埼玉県では、どのような対策をとるべきか、各学校で講座を開いています。私は昨年度より、ネットアドバイザーとなり、県内の各学校でこの「子ども安全見守り講座」を開催しています。

各学校を回って感じることは、保護者は安全のために携帯電話を持たせているつもりが、子どもたちは、親との連絡よりも、ゲームやメールといった楽しみに携帯を使っているという実態があるということです。

ゲームに参加するために、自分のメールアドレスや情報を書きこみ、知らない人とネットできりとりをし、友だちのメールアドレスや電話番号を安易に他人に教えたり、撮った写真を勝手に他人にメールしたり：子ども達は、インターネットは不特定多数の人とながり、一度ネットに載せた情報は写真もふくめ、悪意のある人が勝手に使ってしまうなどの知識はもっていません。

子どもに見せたくない情報を見せないために、ゆるいフィラリングをかけている家庭もあります。しかし、無線でインターネットを使っている



お宅で、ロックをかけていないと、近所の子どもたちはその家からもれてくる無線をひろい、ゲーム機や音楽プレイヤーで、ネットを勝手に使っています。ニュータウンでそのようなことはありませんか？

新しいメディアであるインターネット。その闇の部分から、おとなが子ども達を守らなくてはと思います。ぜひ、子どもたちがどのように携帯電話を使っているか、注意して見守っていただきたいと思っています。

(次号では具体的な対策法を教えていただく予定です)

10月発行自治会だより
のお詫びと訂正

7ページ【白岡ニュータウンのサークル一覧】で「14リズム体操」の活動日と開始時刻が誤っていました。

正しくは

※活動日……第1、2、4、

火曜日

※開始時刻……14時です。

関係者の方々にご迷惑をお掛けし、申し訳ありませんでした。書面を借りて謹んでお詫び申し上げます。

編集後記

よく見かけるハナミズキ、7ページ掲載の管理を参考に毎年良い花を咲かせてください。

インターネットの危うさは子どもだけではなく、おとなも知っておかなくてはいけない情報だと思います。次号(6月)が楽しみです。